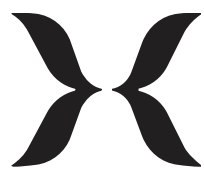

令和元年度
卒業予定者アンケート調査結果

令和2年3月



比治山大学
比治山大学短期大学部

評価委員会

調査の概要

1. 目的 卒業予定者に対し、在学期間を通しての成長実感、本学への評価を聴取することで、本学の強み・弱みや学生の特性・特徴を把握し、今後の本学の発展のための参考資料とする。
2. 対象 令和元(2019)年度 卒業予定者 比治山大学4年生, 比治山大学短期大学部2年生
令和元(2019)年度 修了予定者 比治山大学大学院2年生, 比治山大学短期大学部専攻科
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 令和元年12月18日～令和2年2月7日
5. 回収状況

	対象者*	回答者数	回答率
■大学	406名	288名	70.90%
現代文化学部 言語文化学科	129名	59名	45.70%
現代文化学部 マスコミュニケーション学科	49名	40名	81.60%
現代文化学部 社会臨床心理学科	75名	50名	66.70%
現代文化学部 子ども発達教育学科	82名	72名	87.80%
健康栄養学部 管理栄養学科	71名	67名	94.40%
■短期大学部	222名	168名	75.70%
短期大学部 幼児教育科	87名	59名	67.80%
短期大学部 総合生活デザイン学科	80名	74名	92.50%
短期大学部 美術科	55名	35名	63.60%
■大学院	9名	3名	33.30%
現代文化研究科 現代文化専攻	1名	0名	0%
現代文化研究科 臨床心理学専攻	8名	3名	37.50%
■短期大学部専攻科	30名	2名	6.70%
短期大学部専攻科 美術専攻	30名	2名	6.70%
総計	667名	461名	69.10%

*令和元年度12月現在卒業(修了)年次在籍者数(休学者を除く)

6. 実施 評価委員会
7. まとめ方 大学・短期大学部・大学院・短期大学部専攻科に分けて表記した。
Q.1.2.8.12.13 所属・自由記述等の項目は除く。

卒業認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

【言語文化学科（日本語文化コース）】

所定の単位を修めることによって、以下の能力を身につけた学生は、卒業が認定され、学士（文学）の学位が授与されます。

- 1 日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得しています。
- 2 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得しています。
- 3 地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢とを持ち、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得しています。

【言語文化学科（国際コミュニケーションコース）】

所定の単位を修めることによって、以下の能力を身につけた学生は、卒業が認定され、学士（文学）の学位が授与されます。

- 1 異文化に関する知識を体系的に理解し、異文化間の摩擦から生じる課題を自ら発見し、解決する能力を修得しています。
- 2 発信型の英語力などの語学の運用に必要な汎用的技能を修得しています。
- 3 国際的な社会人に必要とされる高い倫理観を修得しています。

【マスコミュニケーション学科】

所定の単位を修めることによって、以下の能力を身につけた学生は、卒業が認定され、学士（文学）の学位が授与されます。

- 1 情報社会やマスコミ（メディア）の本質を理解し、社会に貢献する基礎知識とスキルを持ち、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を修得しています。
- 2 テレビ・新聞などの在来メディアと、インターネットという新しいメディアの双方に関する基礎知識を有しており、「現場」で求められれば、一定の対応ができる力を修得しています。
- 3 観光文化の基礎知識を有し、「現場」で求められれば、新旧メディアを活用した一定の観光情報の制作・発信ができる力を修得しています。

【社会臨床心理学科】

所定の単位を修めることによって、以下の能力を身につけた学生は、卒業が認定され、学士（心理学）の学位が授与されます。

- 1 人間の心や行動について、パーソナリティに代表される個人的要因、および家族、学校、コミュニティ等の社会・文化的な要因の影響を受けていることを理解できる能力を修得しています。
- 2 人間の心や行動に関する現象の原因を、実験や調査および検査といった科学的手法を用い

て明らかにできる能力を修得しています。

- 3 心理学的理論や手法を自分自身の理解，さらには社会現象の理解に応用できるようにし，そこにある問題や課題について，実践的にアプローチできる能力を修得しています。

【子ども発達教育学科】

所定の単位を修めることによって，以下の能力を身につけた学生は，卒業が認定され，学士（教育学）の学位が授与されます。

- 1 子どもの健全な発達を支援する人間にふさわしい豊かな教養を修得しています。
- 2 人間関係力や自己表現力など社会人として必要な力を修得しています。
- 3 子どもの発達を多面的，総合的に理解する力を修得しています。（子ども理解力）
- 4 子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的な指導力を修得しています。（教科学習指導力など）
- 5 地域社会や職場において子育てや次世代育成支援にリーダーシップが発揮できる専門性と行動力を修得しています。

【管理栄養学科】

所定の単位を修めることによって，以下の能力を身につけた学生は，卒業が認定され，学士（栄養学）の学位が授与されます。

- 1 社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え、食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持ち、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けています。（関心・意欲・態度）
- 2 人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解するとともに、その適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けています。（思考・判断）
- 3 専門職としての管理栄養士に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的に行なうことができる実践力や指導力を身に付けています。（技能・表現）
- 4 管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けています。（知識・理解）

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

【幼児教育科】

幼児教育科では、「4×3の比治山力（汎用的能力）」を基礎とし、「子どもを知る・保育を知る・自分を知る」を軸とした、実践力を備えた保育の専門性を身に付け、所定の単位を修めた学生に卒業を認定し、短期大学士（幼児教育）の学位を授与します。

1 知識・理解

- (1) 子どもの心身の健康や発達について理解する。
- (2) 保育の本質と目的について理解する。
- (3) 保育者の役割について理解する。

2 技能

- (1) 子ども一人ひとりの発達段階や心の動きに合わせて援助ができる。
- (2) 一人ひとりの子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる。
- (3) 保育の基礎技能を用いた指導ができる。

3 思考・判断・表現

- (1) 保育の記録を通して、子ども一人ひとりの育ちを捉えることができる。
- (2) 子どもの生活に即した保育を構想することができる。
- (3) 自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる。

4 態度・志向性

- (1) 子どもの最善の利益を尊重する。
- (2) 人との信頼関係を築き、相互に協力して共に育ち合おうとする。
- (3) 保育者としての社会的責任を自覚するとともに、自己実現の喜びを持つ。

【総合生活デザイン学科】

総合生活デザイン学科では、建学の精神を礎に、日々個性を磨くことにより、自らの生活を総合的にデザインし、「なりたい自分」になれる力を身に付け、所定の単位を修めた学生に卒業を認定し、短期大学士（生活学）の学位を授与します。

- 1 自己実現をめざして自らの人生をデザインし、社会の一員として共に生きることができる。
- 2 専門分野において確かな知識・技能及び実践力を身に付け、社会で役立つ適材として自立することができる。
- 3 専門性を高め、職業人としての自覚を深め、課題を分析し問題解決する力を身に付けている。

【美術科】

美術科では、「描くこと」「造ること」を基本に、多様なコースの専門実習を通して、感性を磨き、創造性を育み、集中力と持続力を養い、確かな表現力で地域社会に貢献できる表現者・職業人となるために専門性を身に付け、所定の単位を修めた学生に卒業を認定し、短期大学士(美術)

の学位を授与します。

- 1 芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達ができる。
- 2 美術分野における素材や技術に対しての基本的な知識を有し、それらを用いた創造豊かな表現ができる。
- 3 芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を大切にして専門性を磨き、社会において豊かな人間関係を築くことができる。

卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

【大学院 現代文化研究科 現代文化専攻】

現代文化専攻では、所定の単位を修め、最終試験に合格した学生に修了を認定し、修士（文学又は学術）の学位を授与します。

学位が授与されるために必要な知識や能力は次のとおりです。

- 1 現代文化専攻のいずれかの研究領域に関する高度な専門的知識・技能
- 2 自ら設定した研究課題に対する学位修士にふさわしい研究成果
- 3 知識基盤社会の発展に貢献できる実践力

【大学院 現代文化研究科 臨床心理学専攻】

臨床心理学専攻では、所定の単位を修め、最終試験に合格することによって、以下に掲げる能力を身につけた学生に修了を認定し、修士（文学又は学術）の学位を授与します。

- 1 公認心理師の職責を理解し、関係者と協働しながら支援等を実践する能力
- 2 心理学の高度な専門的知識と技術をもって心理査定、心理面接を行う能力
- 3 心理学の高度な専門的知識と技術をもって地域社会に貢献する能力
- 4 心理学についての研究を行う能力

専攻科の教育目的

【短期大学部専攻科 美術専攻】

専攻科は、短期大学学科の基礎の上に、特別の専門課程による教授を行い、その研究を指導することを目的とする。

美術専攻は、短期大学で修得した知識と技術の上に、より高度な専門的知識と技術を修得し、広く深く美術の世界を切り開くたくましい創造力を身に付けた人材を育成することを目的とする。

Q3 あなたの現在の1週間(7日間)の生活時間について、(1)～(6)の項目ごとに該当する時間をお答えください。(各項目1つ選択)

		回答数	0時間 (%)	1～5時間 (%)	6～10時 間 (%)	11～15時 間 (%)	16～20時 間 (%)	21～25時 間 (%)	26～30時 間 (%)	31時間以 上 (%)
大学の授業	大学	288	6.6	74.0	10.8	4.2	1.0	1.0	1.4	1.0
	短期大学部	168	16.1	34.5	20.8	13.1	8.3	4.8	1.2	1.2
	大学院	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学の授業の 予習・復習など	大学	288	27.8	55.2	8.0	2.8	1.0	1.0	0.3	3.8
	短期大学部	168	39.9	45.2	8.3	4.2	1.8	0.0	0.0	0.6
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大学の授業以外の 学習	大学	288	42.0	37.2	8.7	3.1	0.3	1.0	2.8	4.9
	短期大学部	168	54.8	33.9	5.4	4.2	1.8	0.0	0.0	0.0
	大学院	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
部活動・サークル活 動	大学	288	79.2	14.9	3.1	1.0	0.3	0.0	0.3	1.0
	短期大学部	168	86.9	7.7	2.4	0.6	1.8	0.0	0.0	0.6
	大学院	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アルバイト	大学	288	17.7	13.9	14.2	16.0	13.2	9.0	6.3	9.7
	短期大学部	168	16.1	7.1	13.7	19.6	20.2	6.5	6.5	10.1
	大学院	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
娯楽・交友	大学	288	5.6	27.8	27.8	13.5	9.4	4.2	3.1	8.7
	短期大学部	168	5.4	29.2	26.2	17.9	7.1	5.4	2.4	6.5
	大学院	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q4 次の項目それぞれについて、あなたが大学生活で取り組んだこととしてあてはまるものをお選びください。
(各項目1つ選択)

		回答数	あてはまる (%)	やや あてはまる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
教養を身につけた	大学	288	37.2	42.7	15.3	3.8	1.0
	短期大学部	168	58.3	32.7	6.0	1.2	1.8
	大学院	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
専門的知識を学んだ	大学	288	43.4	40.3	12.2	3.1	1.0
	短期大学部	168	62.5	33.3	4.2	0.0	0.0
	大学院	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
免許や資格を取った	大学	288	38.9	27.8	16.3	4.9	12.2
	短期大学部	168	54.8	30.4	6.0	2.4	6.5
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学生生活を楽しんだ	大学	288	47.2	35.8	10.8	4.5	1.7
	短期大学部	168	66.1	27.4	4.8	1.8	0.0
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アルバイトをした	大学	288	54.5	32.3	6.3	3.5	3.5
	短期大学部	168	73.8	15.5	2.4	3.6	4.8
	大学院	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留学をした	大学	288	7.6	4.2	4.5	1.0	82.6
	短期大学部	168	7.7	3.0	2.4	0.0	86.9
	大学院	3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
クラブや課外活動をした	大学	288	21.9	24.3	9.0	12.5	32.3
	短期大学部	168	15.5	16.7	6.5	7.1	54.2
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
進学に向けた準備をした	大学	288	10.8	20.1	11.1	2.8	55.2
	短期大学部	168	19.0	13.7	13.7	1.8	51.8
	大学院	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
就職に向けた準備をした	大学	288	44.4	36.1	13.2	3.8	2.4
	短期大学部	168	61.3	25.0	8.9	1.8	3.0
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q5 本学での授業に対して、あなたはどのように取り組みましたか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。
(各項目1つ選択)
※状況や場合によって異なると思いますが、一般的にこの程度という感覚でお答えください。

		回答数	あてはまる (%)	ある程度 あてはまる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
グループワークやディスカッションに積極的に参加していた	大学	288	29.5	40.6	20.8	6.9	2.1
	短期大学部	168	29.2	44.0	17.9	7.7	1.2
	大学院	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
必要な予習や復習はした上で授業にのぞんでいた	大学	288	17.4	41.3	25.0	12.2	4.2
	短期大学部	168	16.1	36.3	26.2	14.9	6.5
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
先生に質問したり、勉強の仕方を相談したりしていた	大学	288	20.5	32.3	27.8	13.2	6.3
	短期大学部	168	19.6	30.4	29.8	14.9	5.4
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
課されたレポートや課題を少しでも良いものに仕上げようと努力した	大学	288	28.5	45.1	18.8	4.9	2.8
	短期大学部	168	41.1	39.3	14.9	4.8	0.0
	大学院	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
レポートや課題は満足がいくように仕上げた	大学	288	25.3	47.2	20.8	3.8	2.8
	短期大学部	168	32.7	45.8	17.9	3.6	0.0
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
授業には意欲的に参加した	大学	288	31.3	42.4	21.9	2.4	2.1
	短期大学部	168	31.5	47.6	18.5	2.4	0.0
	大学院	3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
プレゼンテーションの際、何を質問されても大丈夫なように十分に調べた	大学	288	17.0	34.4	34.4	10.4	3.8
	短期大学部	168	16.7	38.1	27.4	14.3	3.6
	大学院	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
授業はただぼろっと聞いていた	大学	288	11.8	18.4	26.0	30.9	12.8
	短期大学部	168	6.0	20.8	33.3	25.0	14.9
	大学院	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
自分では積極的に学習していたと思う	大学	288	17.7	38.5	28.8	10.1	4.9
	短期大学部	168	17.3	47.6	26.2	8.3	0.6
	大学院	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
勉強は好きである	大学	288	10.8	23.3	30.6	21.9	13.5
	短期大学部	168	10.1	24.4	34.5	16.7	14.3
	大学院	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

Q6 本学の授業とあなたとの関連についてどう思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。
(各項目1つ選択)

		回答数	よくあてはまる (%)	ある程度あてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
卒業後にやりたいことが決まった	大学	288	35.1	39.2	18.1	7.6
	短期大学部	168	45.8	37.5	14.9	1.8
	大学院	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
大学での授業はやりたいことに密接に関わっていた	大学	288	25.7	39.2	23.3	11.8
	短期大学部	168	43.5	34.5	17.3	4.8
	大学院	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
授業を通じてやりたいことが見つかった	大学	288	27.8	32.6	26.7	12.8
	短期大学部	168	33.9	38.1	25.0	3.0
	大学院	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0

Q7 本学について、あなたは次の点でどのくらい満足していますか。(各項目1つ選択)

		回答数	満足 (%)	やや満足 (%)	やや不満 (%)	不満 (%)
授業全般	大学	288	24.0	53.5	19.4	3.1
	短期大学部	168	37.5	54.2	7.7	0.6
	大学院	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0
授業外での教員との関わり	大学	288	29.9	53.1	12.2	4.9
	短期大学部	168	38.1	56.0	4.8	1.2
	大学院	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
図書館などの学習施設	大学	288	16.7	39.6	26.4	17.4
	短期大学部	168	29.8	60.1	8.3	1.8
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
パソコンなどの情報環境、サポート	大学	288	16.0	37.2	22.6	24.3
	短期大学部	168	29.2	60.1	8.9	1.8
	大学院	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	100.0	0.0	0.0	0.0
就職指導・サポート	大学	288	17.7	47.2	22.9	12.2
	短期大学部	168	28.0	49.4	21.4	1.2
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	0.0	50.0	0.0
学習・その他のサポート	大学	288	18.8	49.3	25.7	6.3
	短期大学部	168	31.0	53.0	15.5	0.6
	大学院	3	0.0	100.0	0.0	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
大学生活全般	大学	288	21.9	57.6	14.9	5.6
	短期大学部	168	41.1	50.0	7.7	1.2
	大学院	3	33.3	33.3	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0

Q9 次の点で本学の授業は、どのくらい役立っていたと思いますか。
 また自分の実力はどの程度あると思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		回答数	授業の役立ち度				自身の実力の自己評価			
			役立っ た (%)	ある程 度役 立っ た (%)	あまり役 立っ てい な か つ た (%)	役立っ てい な か つ た (%)	十分実 力はある (%)	ある程 度実力 はある (%)	あまり実 力はない (%)	実力は 不十分 (%)
将来の職業に関連する知識や技能	大学	288	24.0	53.5	16.7	5.9	9.7	48.6	37.2	4.5
	短期大学部	168	42.9	45.2	7.1	4.8	14.3	51.2	30.4	4.2
	大学院	3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
専門分野の知識・理解	大学	288	25.7	58.7	11.1	4.5	8.7	54.5	30.6	6.3
	短期大学部	168	45.2	49.4	4.8	0.6	14.3	52.4	29.8	3.6
	大学院	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
論理的に文章を書く力	大学	288	20.8	49.3	23.3	6.6	12.2	42.7	35.8	9.4
	短期大学部	168	19.0	51.8	25.0	4.2	9.5	40.5	41.1	8.9
	大学院	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
外国語活用の力	大学	288	14.9	25.7	34.4	25.0	6.6	26.4	37.5	29.5
	短期大学部	168	13.7	28.6	33.3	24.4	7.1	22.6	38.7	31.5
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	66.7	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
ものごとを分析的・批判的に考える力	大学	288	19.8	55.9	18.4	5.9	11.5	50.7	30.2	7.6
	短期大学部	168	19.0	63.7	15.5	1.8	9.5	51.8	32.7	6.0
	大学院	3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
幅広い知識、ものの見方	大学	288	23.3	55.9	17.0	3.8	12.5	56.9	26.4	4.2
	短期大学部	168	31.5	56.5	10.7	1.2	17.3	54.2	25.6	3.0
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
主体となって調査・研究・発表を行う能力	大学	288	25.7	53.1	16.7	4.5	11.8	52.8	30.6	4.9
	短期大学部	168	25.6	55.4	17.9	1.2	11.3	44.0	40.5	4.2
	大学院	3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

Q10 以下について、自分にどの程度あてはまるとお思いますか。(各項目1つ選択)

		回答数	あてはまらない (%)	ややあてはまらない (%)	どちらとも言えない (%)	ややあてはまる (%)	あてはまる (%)
始めたことは何であれやり遂げる	大学	288	6.3	16.0	25.3	32.3	20.1
	短期大学部	168	11.3	10.7	16.7	35.1	26.2
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
頑張りやである	大学	288	10.1	11.5	30.9	29.5	18.1
	短期大学部	168	10.1	11.3	23.2	33.9	21.4
	大学院	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
終わるまで何カ月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	大学	288	10.4	22.2	31.9	25.3	10.1
	短期大学部	168	10.7	17.9	33.3	28.6	9.5
	大学院	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
私は困難にめげない	大学	288	8.3	16.7	35.8	28.1	11.1
	短期大学部	168	9.5	16.1	33.9	26.2	14.3
	大学院	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	大学	288	8.3	20.8	34.4	26.4	10.1
	短期大学部	168	14.9	17.9	28.0	32.1	7.1
	大学院	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	大学	288	9.0	19.1	34.7	28.8	8.3
	短期大学部	168	7.1	23.8	29.8	28.6	10.7
	大学院	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
勤勉である	大学	288	12.5	22.6	38.5	19.8	6.6
	短期大学部	168	11.3	22.0	38.1	20.8	7.7
	大学院	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
	短期大学部 専攻科	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	大学	288	8.0	22.2	37.8	24.3	7.6
	短期大学部	168	8.9	21.4	32.7	30.4	6.5
	大学院	3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	短期大学部 専攻科	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

Q11 あなたは自分自身をどう思っていますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。
(各項目1つ選択)

		回答数	そうだ (%)	まあそうだ (%)	あまりそう ではない (%)	そうではな い (%)
私は価値のある人間だと思 う	大学	288	19.4	35.1	34.4	11.1
	短期大学部	168	17.9	37.5	38.1	6.5
	大学院	3	0.0	33.3	33.3	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	0.0	50.0	0.0
私は人とうまく協力できるほ うだと思う	大学	288	28.5	53.1	14.2	4.2
	短期大学部	168	27.4	60.1	11.3	1.2
	大学院	3	0.0	33.3	0.0	66.7
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
私はいまの自分に満足して いる	大学	288	17.7	41.7	26.7	13.9
	短期大学部	168	18.5	39.3	32.7	9.5
	大学院	3	0.0	33.3	33.3	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	0.0	50.0	0.0
私は努力すれば大体のこ とができると思う	大学	288	21.5	54.2	17.4	6.9
	短期大学部	168	23.2	50.0	22.6	4.2
	大学院	3	0.0	33.3	33.3	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
私は辛いことがあっても乗り 越えられると思う	大学	288	25.0	51.7	18.4	4.9
	短期大学部	168	25.0	54.2	19.0	1.8
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	50.0	0.0	0.0
私は怒った時や興奮してい る時でも自分をコントロール できるほうだ	大学	288	31.3	46.9	18.1	3.8
	短期大学部	168	31.0	41.1	21.4	6.5
	大学院	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	短期大学部 専攻科	2	50.0	0.0	50.0	0.0

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部
言語文化学科 日本語文化コース

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得している	42	14.3	61.9	19.0	4.8	0.0	31.0	50.0	14.3	2.4	2.4
自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得している	42	7.1	54.8	28.6	9.5	0.0	21.4	57.1	14.3	7.1	0.0
地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢とを持っている	42	19.0	38.1	28.6	7.1	7.1	21.4	42.9	23.8	9.5	2.4
地域社会や現代日本における諸課題について、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得している	42	11.9	52.4	26.2	7.1	2.4	19.0	54.8	19.0	4.8	2.4

現代文化学部
言語文化学科 国際コミュニケーションコース

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
異文化に関する知識を体系的に理解している	17	17.6	47.1	11.8	17.6	5.9	23.5	41.2	23.5	5.9	5.9
異文化間の摩擦から生じる課題を自ら発見し、解決する能力を修得している	17	5.9	47.1	35.3	5.9	5.9	11.8	64.7	17.6	0.0	5.9
発信型の英語力などの語学の運用に必要な汎用的技能を修得している	17	11.8	41.2	29.4	5.9	11.8	11.8	41.2	23.5	11.8	11.8
国際的な社会人に必要とされる高い倫理観を修得している	17	17.6	41.2	17.6	17.6	5.9	17.6	35.3	35.3	5.9	5.9

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部
マスコミュニケーション学科

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
情報社会やマスコミ(メディア)の本質を理解している	40	12.5	52.5	27.5	5.0	2.5	20.0	37.5	30.0	7.5	5.0
社会に貢献する基礎知識とスキルを持ち、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を修得している	40	17.5	50.0	27.5	2.5	2.5	15.0	42.5	30.0	7.5	5.0
テレビ・新聞などの在来メディアと、インターネットという新しいメディアの双方に関する基礎知識を修得している	40	17.5	45.0	32.5	2.5	2.5	20.0	37.5	30.0	10.0	2.5
メディアに関する基礎知識をいかして、「現場」で求められれば、一定の対応ができる力を修得している	40	20.0	42.5	25.0	10.0	2.5	27.5	40.0	22.5	7.5	2.5
観光文化の基礎知識を有し、「現場」で求められれば、新旧メディアを活用した一定の観光情報の制作・発信ができる力を修得している	40	17.5	47.5	30.0	2.5	2.5	20.0	42.5	27.5	7.5	2.5

現代文化学部
社会臨床心理学科

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
人間の心や行動について、パーソナリティに代表される個人的要因、および家族、学校、コミュニティ等の社会・文化的な要因の影響を受けていることを理解できる能力を修得している	50	14.0	56.0	16.0	10.0	4.0	22.0	58.0	16.0	2.0	2.0
人間の心や行動に関する現象の原因を、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる能力を修得している	50	2.0	44.0	44.0	4.0	6.0	12.0	60.0	28.0	0.0	0.0
心理学的理論や手法を自分自身の理解、さらには社会現象の理解に応用できる	50	0.0	58.0	22.0	16.0	4.0	12.0	62.0	22.0	2.0	2.0
社会の問題や課題について、実践的にアプローチできる能力を修得している	50	6.0	36.0	40.0	16.0	2.0	12.0	50.0	30.0	6.0	2.0

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部
子ども発達教育学科

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
子どもの健全な発達を支援する人間にふさわしい豊かな教養を修得している	72	25.0	58.3	13.9	1.4	1.4	33.3	58.3	8.3	0.0	0.0
人間関係力や自己表現力など社会人として必要な力を修得している	72	19.4	66.7	9.7	2.8	1.4	41.7	47.2	9.7	1.4	0.0
子どもの発達を多面的、総合的に理解する力を修得している	72	18.1	66.7	12.5	1.4	1.4	37.5	54.2	8.3	0.0	0.0
子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的な指導力を修得している	72	15.3	54.2	23.6	5.6	1.4	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0
地域社会や職場において子育てや次世代育成支援にリーダーシップが発揮できる専門性と行動力を修得している	72	13.9	63.9	19.4	1.4	1.4	37.5	45.8	15.3	1.4	0.0

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

健康栄養学部
管理栄養学科

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備えている	67	1.5	37.3	49.3	10.4	1.5	3.0	52.2	29.9	13.4	1.5
食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持っている	67	3.0	47.8	40.3	6.0	3.0	6.0	53.7	32.8	6.0	1.5
生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けている	67	4.5	55.2	28.4	10.4	1.5	6.0	46.3	40.3	6.0	1.5
人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解している	67	1.5	35.8	52.2	9.0	1.5	3.0	46.3	40.3	7.5	3.0
人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題の適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けている	67	0.0	32.8	52.2	13.4	1.5	3.0	46.3	43.3	6.0	1.5
専門職としての管理栄養士に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有している	67	4.5	31.3	52.2	9.0	3.0	7.5	40.3	41.8	7.5	3.0
チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的に行なうことができる実践力や指導力を身に付けている	67	0.0	31.3	52.2	14.9	1.5	3.0	38.8	46.3	9.0	3.0
管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けている	67	1.5	20.9	58.2	14.9	4.5	1.5	38.8	52.2	6.0	1.5

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部
幼児教育科

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
子どもの心身の健康や発達について理解している	59	18.6	78.0	3.4	0.0	0.0	54.2	40.7	5.1	0.0	0.0
保育の本質と目的について理解している	59	25.4	61.0	13.6	0.0	0.0	50.8	44.1	5.1	0.0	0.0
保育者の役割について理解している	59	40.7	52.5	6.8	0.0	0.0	61.0	32.2	6.8	0.0	0.0
子ども一人ひとりの発達段階や心の動きに合わせて援助ができる	59	20.3	52.5	22.0	5.1	0.0	50.8	39.0	8.5	1.7	0.0
一人ひとりの子どもや保護者に対する基礎的な相談・援助ができる	59	20.3	44.1	30.5	3.4	1.7	40.7	45.8	10.2	3.4	0.0
保育の基礎技能を用いた指導ができる	59	15.3	50.8	25.4	8.5	0.0	39.0	47.5	10.2	3.4	0.0
保育の記録を通して、子ども一人ひとりの育ちを捉えることができる	59	23.7	47.5	27.1	1.7	0.0	44.1	47.5	8.5	0.0	0.0
子どもの生活に即した保育を構想することができる	59	15.3	52.5	27.1	5.1	0.0	35.6	52.5	11.9	0.0	0.0
自らの保育の過程を振り返り、自己評価できる	59	25.4	57.6	13.6	3.4	0.0	54.2	40.7	5.1	0.0	0.0
子どもの最善の利益を尊重する	59	55.9	37.3	6.8	0.0	0.0	62.7	30.5	6.8	0.0	0.0
人との信頼関係を築き、相互に協力して共に育ち合おうとする	59	50.8	39.0	10.2	0.0	0.0	57.6	35.6	5.1	1.7	0.0
保育者としての社会的責任を自覚するとともに、自己実現の喜びを持つ	59	44.1	49.2	6.8	0.0	0.0	55.9	39.0	5.1	0.0	0.0

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部
総合生活デザイン学科

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
自己実現をめざして自らの人生をデザインしている	74	17.6	44.6	31.1	5.4	1.4	23.0	50.0	23.0	4.1	0.0
社会の一員として共に生きることができる	74	24.3	43.2	29.7	2.7	0.0	24.3	48.6	24.3	2.7	0.0
専門分野において確かな知識・技能及び実践力を身に付けている	74	16.2	43.2	33.8	5.4	1.4	21.6	48.6	27.0	2.7	0.0
専門分野において社会で役立つ適材として自立することができる	74	14.9	40.5	37.8	4.1	2.7	21.6	44.6	28.4	5.4	0.0
専門性を高め、職業人としての自覚を深めている	74	18.9	32.4	40.5	6.8	1.4	21.6	52.7	21.6	2.7	1.4
課題を分析し問題解決する力を身に付けている	74	13.5	45.9	36.5	4.1	0.0	23.0	50.0	25.7	1.4	0.0

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部
美術科

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達ができる	35	28.6	57.1	8.6	2.9	2.9	40.0	42.9	11.4	2.9	2.9
美術分野における素材や技術に対しての基本的な知識を有している	35	22.9	57.1	14.3	2.9	2.9	40.0	45.7	11.4	0.0	2.9
美術分野における素材や技術に対しての基本的な知識を用いた創造豊かな表現ができる	35	25.7	42.9	25.7	2.9	2.9	34.3	51.4	8.6	2.9	2.9
芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持っている	35	42.9	45.7	8.6	2.9	0.0	45.7	37.1	11.4	0.0	5.7
集中力や持続力を大切にして専門性を磨いている	35	31.4	57.1	8.6	0.0	2.9	40.0	45.7	8.6	0.0	5.7
社会において豊かな人間関係を築くことができる	35	28.6	37.1	31.4	0.0	2.9	34.3	42.9	11.4	2.9	8.6

Q14 あなたご自身のことについてお伺いします。

項目ごとに、自身の現在にあてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)

項目ごとに、自身の入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)をお選びください。(各項目1つ選択)

大学院 現代文化研究科
臨床心理学専攻

卒業(修了)の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
公認心理師の職責を理解している	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
関係者と協働しながら支援等を実践する能力を身に付けている	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
心理学の高度な専門的知識と技術をもって心理査定、心理面接を行う能力を身に付けている	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
心理学の高度な専門的知識と技術をもって地域社会に貢献する能力を身に付けている	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
心理学についての研究を行う能力を身に付けている	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

短期大学部専攻科
美術専攻

専攻科の教育目的	回答数	達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
より深くより広く美術を学び、高度な専門的知識を身に付けている	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
確かな造形力や表現力を基礎とし、新たな発見や柔軟な発想の中から創造性に溢れた作品制作ができる	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主体的に取り組み、これまでの学びをより深く探究することができる	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新たにより広範囲な領域の美術活動を模索することができる	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和元年度卒業予定者アンケート調査分析結果

【目的】

本調査の目的は、卒業予定者に対し、在学期間を通しての成長実感、本学への評価を聴取することで、本学の強み・弱みや学生の特性・特徴を把握し、今後の本学の発展のための参考資料とする。また、概要を示すため、分析の対象は比治山大学短期大学部2年生および比治山大学4年生卒業予定者のみとした。

【結果】

卒業予定者の満足度について肯定的に回答している割合は、「授業全般」が短大/大学で91.7%/77.4%、「授業外での教員との関わり」が94.0%/83.0%。「大学生活全般」が91.1%/79.5%と高い値を示した。

卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマポリシー：以降 DP)の達成度・成長実感が高い学科では、達成度が81.5%、成長実感が91.8%であった。9学科/コース全54DPのうち、達成度が60%以上のDPは35方針(64.8%)、成長実感が60%以上のDPは41方針(75.9%)であった。

卒業予定者の1週間の生活時間のうち、「大学の授業の予習・復習など」「大学の授業以外の学習」の分布を在學生と比較した結果、大学生のみ、統計的な有意な差が算出された。さらに細かく見ると、「予習・復習」については、21時間以上している学生の割合が卒業生の方が高かった。また、「授業以外の学習」については、21時間以上している学生の割合が卒業生の方が高かったことと、0~10時間という短い学習時間の学生の割合が低かった。

授業の有用度について肯定的に回答している割合は、「専門分野の知識・理解」が短大/大学で94.6%/84.4%、「幅広い知識、ものの見方」が71.4%/69.4%と高い値を示した。

Gritと呼ばれる根気(「勤勉である」等)と一貫性(「物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう」等)からなる指標については、効果量の検定結果から、先行研究の学生と比べて本学の学生がより望ましい数値であることが示された。

【総評】

卒業予定者を対象にした今回の調査結果から、学生たちの満足度が8割前後と高く、DPの達成度も8割を超え、成長実感は9割を超えていることから、卒業予定者にとって十分な教育・支援が行えたことが伺える。

表に示した学習時間の結果から、大学では卒業予定者になると、「予習・復習」や「授業以外の学習」の時間が多い学生が増えることから、主体的な学びをする学生が増えることが伺える。

授業の有用度について肯定的な回答が約7割を超えている項目があり、学生の満足度やDP達成に寄与していることが伺える。

また、人生における成功・社会的貢献に寄与するとされる **Grit** の値が高かったことは、本学の卒業生が社会に出て十分な役割を発揮できることを示唆する結果となった。

(補足説明)

Grit とは、Duckworth, A. L.(2007)が提唱した「長期的な目標にむけた一貫性(Consistency of Interest : 興味の一貫性)と根気(Perseverance of Effort : 努力の忍耐力)」と定義されるもので、多領域における成功を IQ よりも裏付ける要素である。具体的な内容としては、「始めたことは何であれやり遂げる」や「物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう」といった質問項目(短縮版尺度は 8 項目)によって構成されている。